

【月次改訂】

作成基準日：平成22年7月30日

作成日：平成22年8月20日

商品分類	追加型投信／海外／その他資産(通貨)
投資対象	シュローダー・ブラジル・リアル・マザーファンド、シュローダー・ロシア・ルーブル・マザーファンド、シュローダー・インド・ルピー・マザーファンドおよびシュローダー・中国・人民元・マザーファンド受益証券を主要対象とします。
設定日	平成20年4月28日
信託期間	約10年(平成30年1月29日まで)
決算日	毎年4回(1月、4月、7月、10月の各27日)当該日が休業日の場合は翌営業日
信託報酬	純資産総額に対して年率1.029%(税抜0.980%)

基準価額	8,389円
純資産総額	134(百万円)

基準価額および純資産総額：ペビーファンドベース

■設定来の基準価額の推移



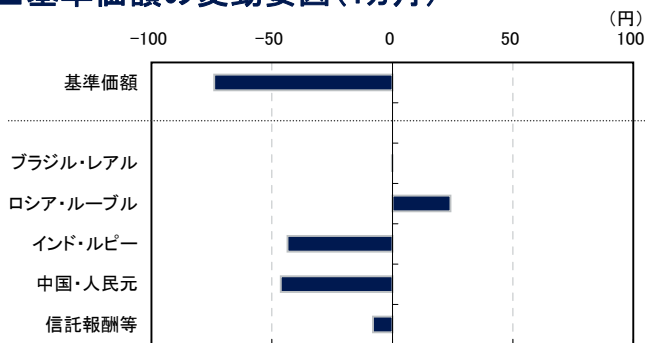
*分配金込みは課税前分配金を再投資した場合の基準価額です。

■基準価額(課税前分配金再投資)の騰落率

ファンド	1か月	3か月	1年	3年	設定来
	-0.87%	-9.20%	-5.38%	-	-16.11%

*騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。
*課税前分配金を再投資した基準価額の騰落率です。
*基準価額は信託報酬控除後の価額です。

■基準価額の変動要因(1か月)*



*ブラジル・リアル：「シュローダー・ブラジル・リアル・マザーファンド」、ロシア・ルーブル：「シュローダー・ロシア・ルーブル・マザーファンド」、インド・ルピー：「シュローダー・インド・ルピー・マザーファンド」、中国・人民元：「シュローダー・中国・人民元・マザーファンド」

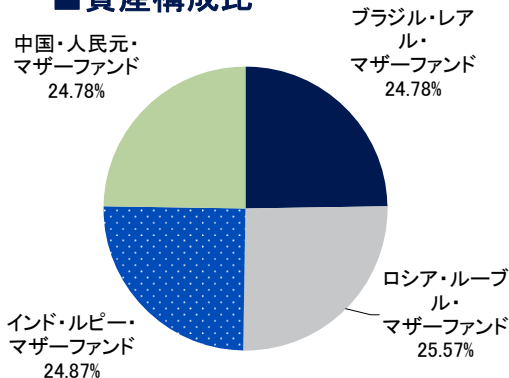
■分配実績

(1万口当たり、課税前)

決算期	分配金
第1期(2008年7月28日)	0円
第2期(2008年10月27日)	0円
第3期(2009年1月27日)	0円
第4期(2009年4月27日)	0円
第5期(2009年7月27日)	0円
第6期(2009年10月27日)	0円
第7期(2010年1月27日)	0円
第8期(2010年4月27日)	0円
第9期(2010年7月27日)	0円

*運用状況によっては分配金が支払われない場合があります。

■資産構成比*



*現金を除きます。

■組入債券種別

国債	81.7%
現金・その他	18.3%

■組入債券格付別比率

AA	81.7%
現金・その他	18.3%

格付け：スタンダード・アンド・プアーズ

■組入債券の残存期間 143日

注) グラフ・数値は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

お申込みの際は、販売会社よりお渡りする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本資料はシュローダー証券投資顧問株式会社が作成したものであり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料の記載内容は作成時点のものであり、市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。本資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性についてはこれを保証するものではありません。また、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

*この資料は6枚組になっています。

設定・運用・・・シュローダー証券投資顧問



Schroders

【月次改訂】
 作成基準日:平成22年7月30日
 作成日:平成22年8月20日

■商品概要

ファンドの特色

1. 中長期的に高い経済成長が期待されるBRICs各国の通貨市場に実質的に投資します。
2. 原則として、実質的にBRICs4通貨に均等分散投資を行います。
3. 年4回の決算時(原則として、1月、4月、7月および10月の各27日)に、基準価額水準、市況動向等を勘案のうえ、分配を行うことを目指します。

■マンスリー・コメント



ブラジル

ブラジルの景気は依然として堅調である一方、6月のインフレ率は市場予想を下回りました。その為、中央銀行の政策金利の引き上げ幅が市場予想よりも小幅であり、インフレ圧力が弱まりつつあることから、政策金利の引き上げが早期に終了するとの観測が広がりました。実体経済も堅調であることもあり、ブラジル株式市場は今月大幅に上昇しました。



ロシア

ロシア株式市場は、欧州の銀行に対するストレステスト(健全性審査)の結果に波乱がなく資本不足の銀行が少数であったことから市場心理が好転したこと、原油市場の上昇がプラス材料となったこと等から、大幅に上昇しました。



インド

インドでは2010年度の成長率見通しが、内需が旺盛で企業の設備投資意欲が高いことから、従来の+8.0%から+8.5%に引き上げられるなど、市場の地合いは堅調ですが、インフレ指標である卸売物価指数が10%超の水準で推移しているため、7月に2度の利上げが行われた結果、市場心理が冷え、月間では株式市場は小幅な上昇に止まりました。



中国

中国株式市場は、7月に発表された経済指標が総じて中国の景気減速を示唆する内容であったことから引き締め観測が後退したこと、中国農業銀行のIPO(株式新規公開)を波乱なく通過したことにより市場心理が好転したこと等から、大幅に上昇しました。

■各国の為替動向

	為替(対円)		
	6月末(円)	7月末(円)	騰落率(%)
ブラジル・レアル	48.95	49.14	0.39%
ロシア・ルーブル	2.83	2.88	1.77%
インド・ルピー	1.93	1.89	-2.07%
中国・人民元	13.01	12.79	-1.69%

*左記為替レートは社団法人 投資信託協会が日々公表する為替レートを使用しております。



ブラジル

ブラジルのレアルは今月対円で上昇しました。レアルが上昇した背景は、貿易黒字、鉱工業生産、小売売上高、自動車販売等ブラジルにおける景気が堅調であること、インフレ圧力が後退しつつあるものの、中央銀行は今月利上げを行い今後も高めの政策金利が維持される期待が根強いことが挙げられます。



ロシア

ロシアのルーブルは今月対円で上昇しました。ルーブルが上昇した背景は、欧州の銀行に対するストレステストの結果を受けて東欧の市場心理が全般的に回復したこと、原油市場の上昇がプラス材料として意識されたこと、等が挙げられます。



インド

インドのルピーは今月対円で下落しました。インドでは、インフレ指数である卸売物価指数が10%超の水準で推移しているため、7月に2度の利上げを行い、2010年度の成長率見通しについても、内需が旺盛で企業の設備投資意欲が高いことから、従来より引き上げられました。これらは全て同国通貨ルピーに対しては上昇要因となりましたが、円高圧力が強く、ルピーの上昇が相殺される形となりました。



中国

中国の人民元は今月対円で下落しました。中国では7月の製造業PMI(購買担当者指数)が51.2ポイントに低下し、自動車の販売台数も足元減少しており、景気は鈍化傾向にある模様です。また、依然として円高圧力が強かったことも対円で人民元が弱含んだ背景のようです。

お申込みの際は、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本資料はシュローダー証券投資顧問株式会社が作成したものであり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料の記載内容は作成時点のものであり、市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。本資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性についてはこれを保証するものではありません。また、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

*この資料は6枚組になっています。
設定・運用・・・シュローダー証券投資顧問

【月次改訂】

作成基準日：平成22年7月30日

作成日：平成22年8月20日

《必ずお読みください》

当ファンドのリスクの概要

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主として短期日本国債を投資対象とすると共に、為替予約取引により実質的に外国通貨にも投資しますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の財務状況の悪化等の影響、および為替の変動により、ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

■当ファンドの主なリスクには、

- ① 為替変動リスク
 - ② 信用リスク
 - ③ 金利変動リスク
 - ④ カントリーリスク
- 等 があります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

当ファンドに係る手数料および費用について

当ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。

①ご購入時にお客様に直接ご負担いただく費用

- お申込手数料 お買付価額に対して3.15%(税抜3.00%)以内の率
※「税抜」の「税」とは消費税および地方消費税を示します。(以下同じ。)

②保有期間中にお客様に間接的にご負担いただく費用

- 信託報酬 ファンドの純資産総額に対して年率1.029%(税抜0.98%)
- 信託事務の諸費用 ファンドの純資産総額に対して年率0.0525%(税抜0.0500%)以内
- その他 売買委託手数料、先物取引、オプション取引等に要する費用およびこれらにかかる消費税等相当額、外貨建資産の保管等に関する費用等。(これらの費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を記載することができません。)

③ご換金時にお客様に直接ご負担いただく費用

- 信託財産留保額 ありません。
- 換金手数料 ありません。

お客様にご負担いただく費用の総額は、ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、記載することができません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「手数料等及び税金」をご覧ください。

お申込みの際は、販売会社よりお渡りする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本資料はシュローダー証券投資信託顧問株式会社が作成したものであり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料の記載内容は作成時点のものであり、市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。本資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性についてはこれを保証するものではありません。また、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

*この資料は6枚組になっています。

設定・運用・・・シュローダー証券投資信託顧問

【月次改訂】

作成基準日：平成22年7月30日

作成日：平成22年8月20日

ファンドの主なリスクおよび留意点**当ファンドのリスクの概要**

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主として短期日本国債を投資対象とすると共に、為替予約取引により実質的に外国通貨にも投資しますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の財務状況の悪化等の影響、および為替の変動により、ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

□ 為替変動リスク

ファンドは、為替予約取引を活用し実質的に外国通貨に投資するため、為替変動リスクが伴います。ファンドが保有する実質外貨建資産（金融派生商品を含みます。以下同じ）の円換算の価値は、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。為替レートは、各国の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給その他の要因により大幅に変動することがあります。ファンドが保有する実質外貨建資産については、為替ヘッジを行いませんので、当該外貨の為替レートが円高の方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割り込むこともあります。

□ 信用リスク

為替予約取引のカウンターパーティーおよび投資を行う債券等の発行体が財政難等に陥った場合、またこうした状況に陥ると予想される場合には、ファンドの基準価額が下落する要因となり、投資元本を割り込むこともあります。

□ 金利変動リスク

一般に債券価格は金利が低下した場合には上昇し、金利が上昇した場合には下落します（値動きの幅は、残存期間、発行体、公社債の種類等によって異なります。）。組入債券の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割り込むこともあります。

□ カントリーリスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、運用方針に沿った運用が困難となる場合があります。

なお、BRICS4通貨（ブラジル・リアル、ロシア・ルーブル、インド・ルピー、中国・人民元）への投資には以下のようなリスクがあります。

「経済状況および政治的・社会的な変化に伴うリスク」、「流動性、制度、インフラストラクチャーに係るリスク」。

□ 実質投資通貨比率に関する留意点

当ファンドでは、実質的なBRICS4通貨の投資比率については、原則として均等に配分する投資方針の下で調整を行います。したがって、各国の金利水準、市場の動向、ファンダメンタルズ、流動性等の見通しに基づいて、機動的に各通貨の配分比率の決定・変更を行うものではございません。

上記の他に「買付・換金に関する制限」、「ファンドからの資金流出に伴うリスクおよび留意点」、「短期金融商品の信用リスク」、「収益分配金に関する留意点」、「信託の途中終了」、「買付・換金の中止」、「投資の基本方針に沿った運用ができない場合」、「運用体制の変更ならびにファンドマネジャーの交代」などがあります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

お申込みの際は、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本資料はシュローダー証券投資顧問株式会社が作成したものであり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料の記載内容は作成時点のものであり、市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。本資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性についてはこれを保証するものではありません。また、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

*この資料は6枚組になっています。

設定・運用・・・シュローダー証券投資顧問

【月次改訂】

作成基準日:平成22年7月30日

作成日:平成22年8月20日

お申込みの際は、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

お申込みメモ

信託設定日	平成20年4月28日
信託期間	約10年(信託終了日:平成30年1月29日) ※ただし、受益権の口数が25億口を下回ることとなった場合等には、信託期間の途中で信託を終了させることがあります。
お申込単位	販売会社が定める単位とします。 ※「一般コース」と「自動けいぞく投資コース」のどちらかのコースを選択してお申込みください。なお、販売会社によっては、取扱コースがどちらか一方のみ場合があります。
お買付価額	買付申込日の翌営業日の基準価額(当初元本1口=1円)
お申込代金の支払日	原則として、買付申込日から起算して6営業日目まで
ご換金単位	販売会社が定める単位とします。
ご換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
ご換金代金の支払日	原則として、換金申込日から起算して6営業日目から
買付・換金のお申込み	原則として、午後3時まで ただし、販売会社所定の事務手続きが完了したものに限りです。
買付・換金不可日	国内の休業日および英国証券取引所もしくはニューヨーク証券取引所またはロンドンの銀行もしくはニューヨークの銀行の休業日には、買付・換金のお申込みは受け付けません。
決算および収益分配	年4回の決算時(原則として1月、4月、7月および10月の各27日。当該日が休業日の場合は翌営業日)に基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。なお、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わない場合があります。 ※一般コースの場合は、分配金は決算日から起算して5営業日目までにお支払いを開始します。 ※自動けいぞく投資コースの場合は、分配金は税引き後、自動的に再投資されます。
課税関係	普通分配金、換金時の値上がり益、償還差益には、税金が課せられます。当ファンドは、課税上は株式投資信託として取扱われます。 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みの際は、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本資料はシュローダー証券投資信託顧問株式会社が作成したものであり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料の記載内容は作成時点のものであり、市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。本資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性についてはこれを保証するものではありません。また、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

*この資料は6枚組になっています。

設定・運用・・・シュローダー証券投資信託顧問

【月次改訂】
 作成基準日:平成22年7月30日
 作成日:平成22年8月20日

■ファンドの関係法人

委託会社:シュローダー証券投信投資顧問株式会社 [設定・運用等]

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第90号

加入協会/日本証券業協会、社団法人投資信託協会、社団法人日本証券投資顧問業協会

受託会社:三菱UFJ信託銀行株式会社(再信託受託会社:日本マスタートラスト信託銀行株式会社) [信託財産の管理等]

販売会社:販売会社については、下記ご参照(五十音順)。[募集の取扱い等]

金融商品取引業者等の名称	登録番号	日本証券業協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会
岩井証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第335号	○		○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○
かざか証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第58号	○		
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○		○
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号	○		○
ソニー銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第578号	○		○
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号	○		○
内藤証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第24号	○		○
成瀬証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第127号	○		
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第152号	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○		○
楽天銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第609号	○		○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○		○

お申し込みの際のご注意

- 投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元金および利息が保証されている商品ではありません。
- 投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 銀行等登録金融機関でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。

お申込みの際は、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本資料はシュローダー証券投信投資顧問株式会社が作成したものであり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料の記載内容は作成時点のものであり、市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。本資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性についてはこれを保証するものではありません。また、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

*この資料は6枚組になっています。
設定・運用・・・シュローダー証券投信投資顧問